

ブルガリア月報〔10年12月〕

平成23年1月
在ブルガリア日本国大使館

概観

【政治・社会】

- ・旧体制下で秘密警察等に協力していた現役大使等の実名が公表され、該当する全大使を召還する方針の政府と右方針に否定的な大統領との間で再び対立が生じた。
- ・明年の大統領選、地方選の同日実施が決定された。

【経済】

- ・2011年度国家予算が承認。経済成長率3.6%、財政赤字2.75%が目標。
- ・外国直接投資は低調であり対前年比73%減。
- ・中国政府との間で鉄道交通に関する覚書に調印。

【我が国との関係】

- ・草の根・人間の安全保障無償資金協力（1件）

この月報はブルガリア各種メディアの報道ぶり等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

政治・社会

1. 内政

◆旧体制下で諜報機関・秘密警察協力者だった大使を全員本国召還へ

▶旧共産主義時代の国家保安部・軍諜報部の公文書を公開するための特別委員会は、旧共産主義体制下で諜報部に協力していた外交官に関する調査を実施、14日、結果を公表した。

▶それによると、現職及び退職した大使クラスの外交官の48%、約190名がエージェントまたは協力者であった。現職の大使・臨時大使・総領事で、当時協力者だったことが判明したのは、駐日、駐英、駐独、駐露、駐伊、駐中国、国連代表部の各大使等、計33名に上った。

▶ボリスフ首相及びムラデノフ外相は、これら現役大使全員を本国召還する方針を示したが、パルヴァノフ大統領をはじめ、協力の性質や内容等に応じてケース・バイ・ケースで判断せず、一律に召還する方針に反発する者も多く、また同じく元秘密警察協力者だったディミトロフ無任所大臣を、

その事実を知らず閣僚に任命したのは「ダブルスタンダード」ではないかとの指摘もあった。19日、「デ」大臣は、自ら辞表を提出し、受理された。

▶23日、閣僚評議会は、元秘密警察協力者であった全在外大使の召還を大統領に要請する旨決定したが、大統領は召還命令に署名するかどうかについて明らかにしなかった。

◆「今年の政治家」ツヴェタノフ内相に

▶Darik ラジオ局が視聴者に呼びかけて行った「今年の政治家」投票で第1位の座を獲得したのは、組織犯罪検挙等で活躍したツヴェタノフ副首相兼内相だった（得票率39.8%）。

▶なお、第2位はブリュッセルの雑誌社が実施した「今年の欧州委員」、「今年の欧州人」投票で1位となったゲオルギエヴァ欧州委員、第3位と第4位はプレヴネリエフ地域開発・公共事業大臣、ナイデノフ農業・食糧大臣だった。

◆大統領選・地方選同日実施が決定

▶21日、国民議会は明年10月に大統領選と地方選の同日の実施を決定した。

◆世論調査会社：現政権・前政権の比較評価

世論調査会社MBMD社は、現政権と前政権のパフォーマンス比較に関する世論調査を行った。その結果、32%が現政権が勝るとし、35%が両政権ともほぼ同じ、26%が前政権が勝るとの回答であった。

2. 外政

◆パルヴァノフ大統領：OSCE首脳会合出席（12月1～2日）

パルヴァノフ大統領は、99年11月のイスタンブール首脳会合以来11年ぶりの開催となるOSCE首脳会合（カザフスタン・アスタナ）に出席し、会合開催中、ナゼルバエフ・カザフスタン大統領、フィッシャー・トルコ大統領、ヤヌコーヴィチ・ウクライナ大統領及びタディッチ・セルビア大統領等と首脳会談を実施した。

◆ツヴェタノフ内相：米国訪問（12月5～12日）

▶ツヴェタノフ内相はゴデック国務省対テロ副長官、Drug Enforcement Agency（DEA）のライオンハート長官等と会談した。

▶「ラ」長官は記者団に対し、ブルガリアにDEA連絡事務所を設置したいとの意向を述べた。また、ブルガリアの国際薬物取引撲滅に係る役割は、シェンゲン圏加入と共にEUの外部国境となることから一段と高まるであろうと述べた。

▶また、「ゴ」国務省対テロ副長官は、ブルガリアはテロとの戦いにおける米国の重要な戦略的パートナーであるとし、ブルガリアのイラク・アフガニスタンにおける貢献を高く評価する旨述べた。また、通称バルカンルートでの薬物取引防止への協

力増加に謝意を表明。

▶「ツ」内相は帰国後記者団に対し、今次訪問は非常に有意義かつ実りある訪問であり、米国がブルガリアを信頼していることの確証を得たと述べた。また、2011年の両国のプロジェクト案として、バルカン地域のサイバー犯罪研究所をブルガリアに設立すること等を挙げた。なお、右設立のために、FBIの特別捜査官が既にブルガリアを訪問済みとの由。

◆リーベルマン・イスラエル副首相兼外相：ブルガリア訪問（12月9日）

▶リーベルマン・イスラエル副首相兼外相がブルガリアを訪問し、パルヴァノフ大統領、ボリスフ首相及びムラデノフ外相と会談した。

▶「パ」大統領は、安全保障分野における両国の活発な協力関係に満足の意を表明。「リ」外相は、イスラエルにおける森林火災へのブルガリアの消防隊派遣に謝意を表明した。

▶「ボ」首相は会談後記者団に対し、ネタニヤフ・イスラエル首相が2011年4月にブルガリア訪問予定であると述べた。

◆ボリスフ首相：レバノン訪問（12月20～22日）

▶ボリスフ首相がレバノンを公式訪問し、スレイマン大統領、ハリリ首相及びベッリ国会議長と会談した。スレイマン大統領との会談において、「ボ」首相は、パルヴァノフ大統領からの「ス」大統領へのブルガリア招待を伝えた。また、観光分野における協力に関する協定及び相互投資促進・保護協定が署名された。

▶また「ス」大統領はブルガリアの対中東政策を評価し、イスラエル・パレスチナ間の仲介役を期待していると述べた。

経 済

1. マクロ経済

◆2011年予算の承認

▶2日、国民議会は、2011年度国家予算を承認した。ジャンコフ副首相兼財務相は、「財政赤字を対GDP比2.75%とすることが目標であり、

直接税を引き上げることなく、また、給与・年金を減らすことなく右目標を達成する」旨述べた。経済成長率については、対GDP比3.6%が目標。対外債務は23億5千万レバ（対GDP比14.9%）であるが、同数値はEU加盟国中では極めて低い数値となっている。

▶14日、パルヴァノフ大統領はこの国家予算を公布する大統領令に署名した。同大統領は同案の本質的部分や計画されている政策の一部に関して、異議や懸念を表明しつつ、現在の経済危機という状況にかんがみて拒否権を発動しなかった旨述べた。また、同予算案のマクロ経済的枠組みは不確かかつ楽観的と述べ、GDPの実質成長に関する予測が不当なまでに高いと指摘した。

◆GDP

9日、国家統計局は、第3四半期のGDP成長率を、対第2四半期については0.7%増、対前年比については0.5%増にそれぞれ修正した。輸出の好調（対前年比18%増）が主な要因。第3四半期時点のGDPは全体で約19億4000万レバであり、右数値はEU加盟国中最も低い。

◆外国直接投資、73%減少

▶14日、ブルガリア中央銀行は、1-10月期の外国直接投資は約7億177万ユーロであり、対前年同期比73%の減少である旨発表した。

▶上位3ヶ国はオランダ（12億4,600万ユーロ）、ロシア（1億120万ユーロ）、キプロス（1億108.5万ユーロ）の順となっている。

=====

我が国との関係

◆草の根・人間の安全保障無償資金協力

▶6日、ブルガリア西部ペルニク市のヴァシル・レフスキ小・中学校で、日本政府が供与した

=====

2. 産業

◆投資庁投資アワード

▶16日、ブルガリア投資庁主催による2010年投資アワードが開催され、Agropolychim JSC（製造業、ブルガリア）Vetrokom EOOD（エネルギー、スイス）、AES 3C Maritza East1 Ltd（エネルギー、米）、SHC Kamchiya（公共事業体、露）の4社が表彰された。2010年投資プロジェクトへの参加、雇用創出への貢献、投資資本高、ハイテク技術の利用、投資優先分野への投資、輸出ポテンシャル、環境寄与度等が審査基準となっている。

◆SDN社によるブルガリア政府への寄付

▶韓国のSDN社は、同社のCSR（企業の社会的責任）に基づき100万レバ（約51万ユーロ）をブルガリア政府に寄付した。同社は、ブルガリア中部、ヴェリコ・タルノヴォ州Samovodeneにおいて、1億5千万ユーロを投資し、20MWh規模の太陽光発電所を建設している。

3. その他

◆ブルガリア・中国間で鉄道交通に関する覚書締結

▶7日、北京で開催された第7回高速鉄道会議に参加したツベトコフ運輸・情報技術・通信相は、中国との鉄道交通に関する二国間協力に関する覚書に調印した。同覚書は、ブルガリアを通過するユーラシア回廊、既設鉄道インフラの近代化、高速鉄道輸送の開発を含む鉄道技術の研究、専門技術者の交流等の両国の協力に言及している。

59, 568ユーロを原資に実施されたエネルギー効率向上プロジェクト（窓枠改修と空調設備の整備）の供与式が実施された。

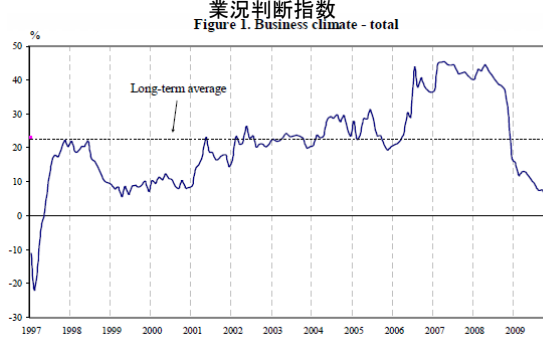
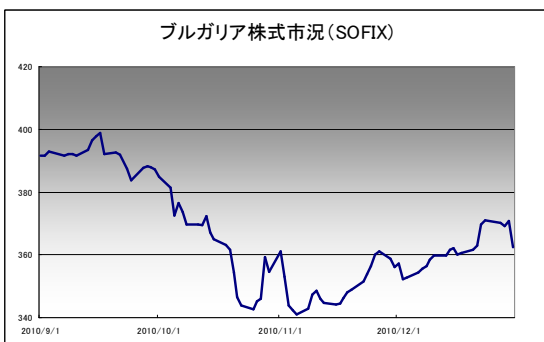
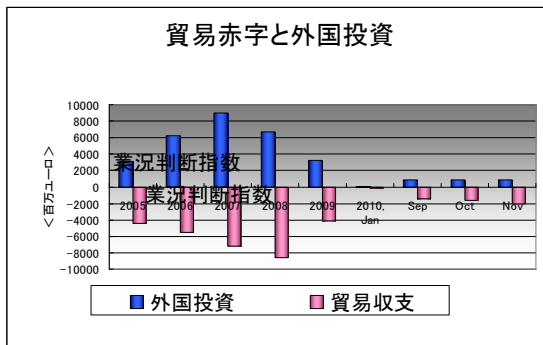
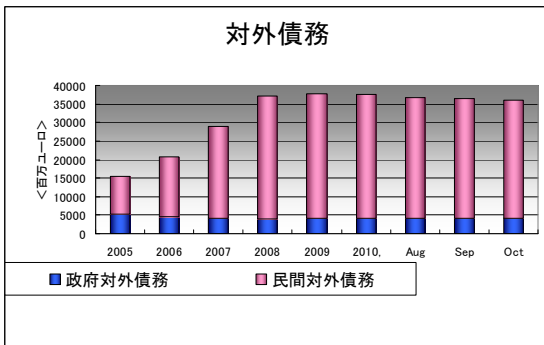
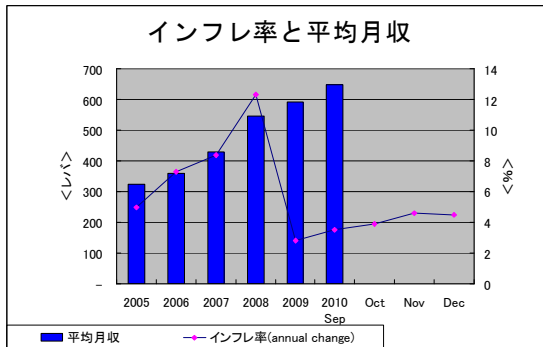
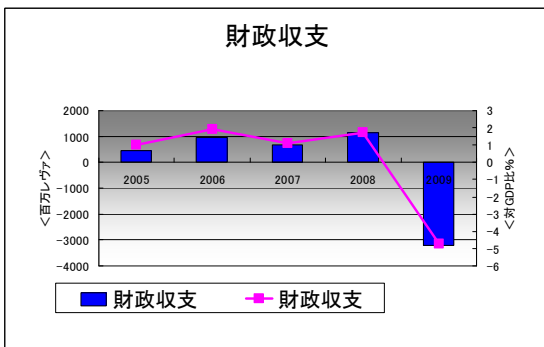
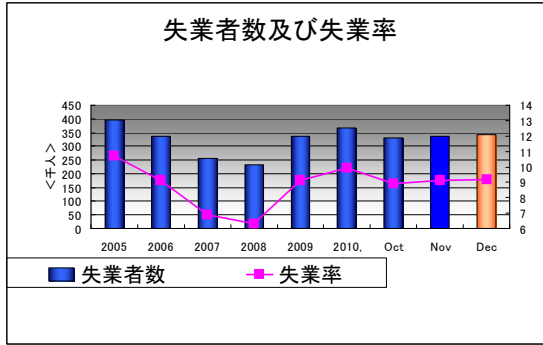
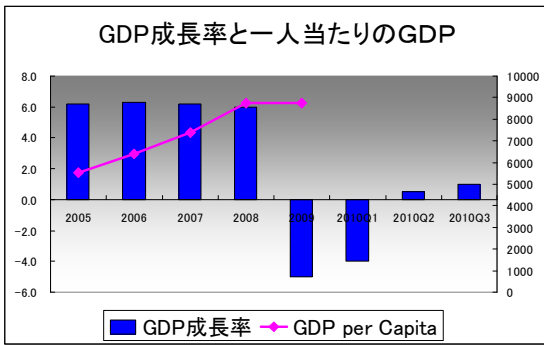
ブルガリア内政・外交の動き（12月）

在ブルガリア大使館

1（水）	<p>☆パルヴァノフ大統領：OSCE首脳会合出席（於：アスタナ）（～2日）</p> <p>☆ツヴァタノフ内相：EU司法・内務内相会合出席（於：ブリュッセル）（～2日）</p> <p>●アレクセイ・ペトロフ元国家保安庁幹部：2011年の大統領選挙立候補を表明</p> <p>●ゲオルギエヴァ欧州委員（ブルガリア出身）がEuropean Voices誌が選ぶEuropean of the Year賞、及びCommissioner of the Year賞を受賞。</p>
2（木）	
3（金）	☆ムラデノフ外相：ハンガリー訪問
4（土）	○豪雨でギリシアとの国境近くで河川の氾濫、ソフィア南西部でも道路の閉鎖。行方不明1名。
5（日）	<p>☆ツァチェヴァ国民議会議長：モロッコ訪問（～7日）</p> <p>☆ツヴァタノフ内相：米国訪問（～12日）</p>
6（月）	
7（火）	
8（水）	☆アフマド・アブゲイト・エジプト外相：ブルガリア訪問
9（木）	☆リーベルマン・イスラエル副首相兼外相：ブルガリア訪問
10（金）	
11（土）	☆ムラデノフ外相：ブルガリア・セルビア・ギリシャ三カ国外相会合出席（於：ソフィア）
12（日）	
13（月）	
14（火）	●旧体制時公文書の公開のための特別委員会：外務省大使クラスの旧諜報機関協力者名公表
15（水）	
16（木）	☆ボリスフ首相：欧州理事会出席（於：ブリュッセル）（～17日）
17（金）	
18（土）	
19（日）	●ディミトロフ無任所大臣（移住・宗教問題担当）辞任。
20（月）	☆ボリスフ首相：レバノン訪問（～22日）
21（火）	●国民議会：明年大統領選・地方選同日実施を決定
22（水）	
23（木）	●国民議会休会
24（金）	
25（土）	
26（日）	
27（月）	
28（火）	☆ボリスフ首相：ブラジル訪問（～2011年1月2日）
29（水）	
30（木）	
31（金）	

ブルガリア経済指標（2010年12月）

出所：統計局、中銀、ソフィア証券取引所



ブルガリア主要経済指標

< GDP成長率と一人当たりのGDP >

	2005	2006	2007	2008	2009	2010Q1	2010Q2	2010Q3
GDP成長率 (%)	6.2	6.3	6.2	6.0	-5.0	-4.0	0.5	1.0
GDP per Capita (BGN)	5529	6411	7379	8753	8735			

< 財政収支 >

	2005	2006	2007	2008	2009
歳入 (million BGN)	464.5	960.5	682.9	1148.8	-3210.7
財政収支 (% of GDP)	1	1.9	1.1	1.7	-4.7

< 失業者数及び失業率 >

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Jan	Oct	Nov	Dec
失業者数 (千人)	397	338	256	232	338	330	367	336	336	342
失業率 (%)	10.7	9.1	6.9	6.3	9.1	8.9	9.9	9.1	9.1	9.2

< インフレ率と平均月収 >

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Sep	Oct	Nov	Dec
インフレ率 (%)	5	7.3	8.4	12.3	2.8	3.5	3.9	3.9	4.6	4.5
平均月収の伸び (%)	324	360	431	545	591	649				

< 対外債務 >

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Jan	Aug	Sep	Oct
政府対外債務 (million EURO)	5197.6	4547.3	4092.3	3908.7	4172.5	4239.5	4239.7	4169.3	4166.7	4166.7
民間対外債務 (million EURO)	10309.3	16143.6	24924.5	33203.7	33635.6	33225.5	32347.6	32355.5	31857.8	31857.8

< 貿易赤字と外国投資 >

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	Jan	Sep	Oct	Nov
外国投資 (million EURO)	3152	6222	9052	6686	3282	887.8	845.5	894.7	894.7	894.7
貿易収支 (million EURO)	-4410	-5562	-7245	-8597	-4174	-1467	-1659	-2071	-2071	-2071
輸出 (million EURO)	9,466	12,012	13,512	15,204	11,787	11,252	12,704	14,152	14,152	14,152
輸入 (million EURO)	13,876	17,574	20,757	23,801	15,889	12,720	14,363	16,224	16,224	16,224